

人口減少社会に対応する行政運営のあり方研究会
「専門職員の人材確保」作業部会 状況報告

令和4年3月25日

1 作業部会設置の目的（ねらい）

平成29年度の研究会総会において、専門職員の人材確保が困難になっていることが課題として挙げられたため、作業部会を設置し、公共インフラの維持管理に関わる建設技術職員を対象としてその確保とサービスの継続的提供に向けた手法を検討することとした。

2 これまでの活動実績（平成30年度～令和2年度）

アンケート及び作業部会において確認した各市町村の建設技術職員の採用・配置や業務の実態を踏まえ、建設技術職員の不足によって将来的に生じる市町村の課題について意見交換した。

また、研究テーマの共通する能代山本地域の地域連携研究会と併せて、各課題の解決に向けて想定される人材の確保、事務の効率化、技術・経験等の継承などの具体的対応策について検討し、「中間とりまとめ」を策定した。

3 令和3年度の活動実績

開催年月日	主な活動（協議）内容
(令和3年5～6月)	令和2年度の中間とりまとめをもとに、今後の調査・研究の進め方について各参加団体に意向を照会。
(令和4年1月)	県内全市町村を対象に、建設技術職員の確保・育成等に関する追加調査を実施。 (1) 建設土木職員の人材確保について (2) 業務の効率化について (3) 建設土木職員の人材養成・研修等について
令和4年 3月1日	令和3年度「専門職員の人材確保」作業部会を開催。 (1) 建設土木職員の確保に係る調査結果について (2) 県における建設土木職員の確保等に係る状況について
※関連する活動 令和3年11～12月	能代山本地域「地域連携研究会」を书面開催、作業部会での調査項目について検討。 ・建設土木職員の採用、人材養成研修等の状況について ・工事の積算業務に係る直営・委託の状況について

4 活動によって把握した内容と今後の活動予定

○人材の確保（任用）、業務のアウトソーシング、職員の研修等の具体的対応策のうち、単独の自治体で解決を図るものについては、各自治体の取組や工夫を情報共有し、今後の取組の参考にできるようにした。

○複数の自治体との連携で解決を図る取組の中で、人材の確保（任用）に係る採用試験の募集・広報等の連携について、引き続き検討していくこととする。